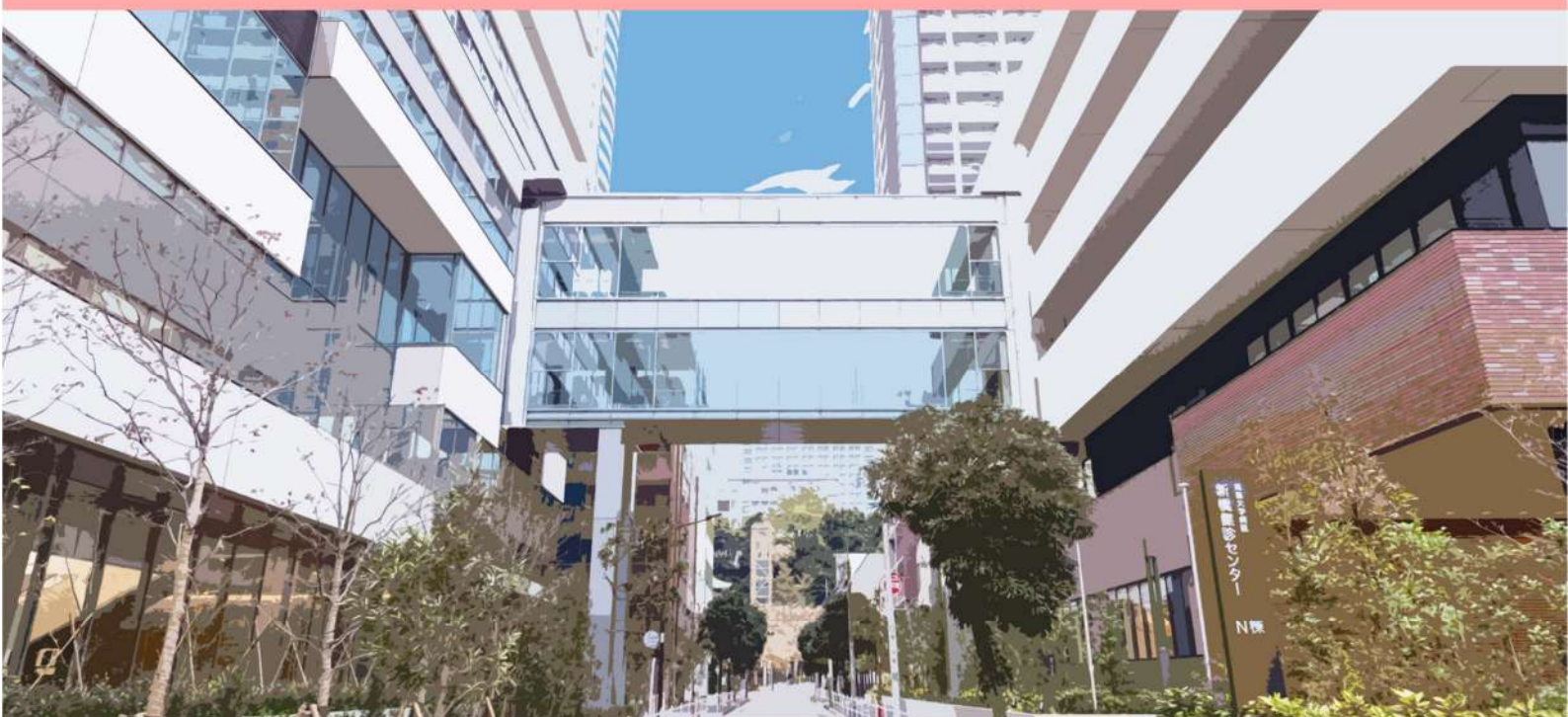




第 83 回日本リハビリテーション医学会関東地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会



日時:2025 年 9 月 23 日(火・祝)

所:東京慈恵会医科大学 大学 1 号館 3 階講堂・5 階講堂

〒105-8461 東京都港区西新橋 3-25-8

事務局 東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座



開催のご挨拶

このたび、第83回日本リハビリテーション医学会関東地方会を、2025年9月23日（火・祝）に開催させていただく運びとなりました。開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。本会は、関東地域におけるリハビリテーション医学の発展と、日々の臨床・研究活動に携わる医療従事者の交流を目的に開催されてまいりました。今回は、東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座が担当させていただきますこと、大変光栄に存じます。

近年、リハビリテーション医療の果たす役割は、急性期から生活期までの各段階でますます重要性を増しており、それに伴い、我々専門職に求められる知識・技術・連携の在り方も進化を続けております。本会では、日々現場で活躍されている先生方による多彩なご発表や活発な討議を通じて、明日からの実践に活かせる学びを得ていただけるよう、充実したプログラムを準備しております。

さらに今回の教育講演では、産業医の生涯研修単位の取得が可能となるよう準備を進めております。リハビリテーション医療と産業医学は、職場復帰支援や労働環境の調整といった点で強い関わりを持つ領域です。この機会に、産業医の先生方からもご参加・ご関心をお寄せいただければ幸いです。

若手医師や研修医、多職種の皆さまにも気軽にご参加いただけるよう工夫を凝らし、学びと交流の場となるよう努めてまいります。秋の爽やかな季節に、皆さまと会場でお目にかかれることを心より楽しみにしております。何卒、奮ってのご参加をお願い申し上げます。

2025年4月12日

第83回日本リハビリテーション医学会関東地方会 会長
東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座
主任教授 安保 雅博

開催概要

会 期 2025 年 9 月 23 日（火・祝） 8:30～15:30

会 場 東京慈恵会医科大学 大学Ⅰ号館（3 階講堂・5 階講堂）
東京都港区西新橋 3-25-8
※現地開催のみ

大 会 長 安保 雅博
東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 主任教授
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 理事長

参加費について

医師 3,000 円
メディカルスタッフ 1,000 円
医療系学生 無料（顔写真付きの学生証の持参をお願いします）
※当日受付でお支払いください（現金のみ）

単位登録について

日本リハビリテーション医学会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会
Ⅰ 講演 1,000 円
日本医師会認定産業医研修会
Ⅰ 講演 1,000 円
※当日受付でお支払いください（現金のみ）

総会について

第 83 回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会において、演題発表の合間に、“地方会組織に関する規則”に則って総会が開催されます。
ご出席のほどよろしくお願いいたします。

日 時:2025 年 9 月 23 日（火・祝） 12 時 40 分から 20 分間（予定）
場 所:東京慈恵会医科大学 大学Ⅰ号館 3 階講堂
（第 83 回関東地方会学術集会会場に同じ）



路線名	最寄り駅下車	出口案内	徒歩時間
JR	新橋	烏森口	約 12 分
	浜松町	北口	約 15 分
都営三田線	御成門	A5 出口	約 3 分
	内幸町	A3 出口	約 10 分
日比谷線	神谷町	3 出口	約 7 分
	虎ノ門ヒルズ	A1 出口	約 9 分
銀座線	虎ノ門	1 出口	約 10 分
銀座線・都営浅草線	新橋	8 出口	約 12 分
丸の内線・千代田線	霞ヶ関	C3 出口	約 13 分

**※駐車場のご用意はございませんので、お車での起こし
はご遠慮ください**

参加者の皆様へ

事前参加登録について

参加登録期間 2025 年 9 月 20 日(土)まで

当日も参加登録は可能ですが、事前の参加登録にご協力をお願いいたします。

大会当日について

受付にて参加費をお支払い後、領収書、青色の参加カード、参加証明書をお受け取りください。参加証明書はお手元に保管し、必要事項を記入した参加カードを専用の回収箱にお入れください。

単位申請について

受付にて 1 講演につき 1,000 円をお支払いください。

専門医・認定臨床医資格更新のための単位取得をご希望の方は、白色の受講カード

認定臨床医受験資格取得のための単位申請をご希望の方は、オレンジ色の受講カード

日本医師会認定産業医のための単位取得をご希望の方は、産業医用の受講カード

講演終了後、それぞれ専用の回収箱にお入れください。

プログラムについて

プログラムはPDF版のみとなります。必要な方は事前に印刷してお持ちください。

一般演題ご発表の先生方へ

発表方法

1. 発表時間は 5 分、質疑応答は 3 分です。発表時間は厳守してください。
2. 発表者が持参する各自の PC で発表を行います。ご自身のノートパソコンを必ずお持ちください。
3. 出力端子は HDMI となります。
4. 発表時は COI 開示のスライドをご提示ください。(詳細は下記をご覧ください。)
5. 発表の順番が近づきましたら、次演者席、次々演者席にて待機してください。

その他注意事項

1. 演者（共同演者含む）は『日本リハビリテーション医学会会員（臨時会員を除く）』に限ります。演題登録時点で会員番号がない方（申請中も含む）は、演者（共同演者含む）として登録することができません。
2. 本学術集会は、「公益社団法人 日本リハビリテーション医学会における事業活動の利益相反（COI）に関する指針」に従います。本指針に則り、本学術集会では全ての発表者（共同演者含む）が、それぞれの演題に関連する COI 開示の対象者となります。自己申告基準については以下を参照ください。COI 開示スライドにつきましては「利益相反無しの場合」「利益相反有りの場合」のいずれかをお使いください。

自己申告基準

- ①企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職については、1つの企業・団体からの報酬額が100万円以上とする。
- ②株式の保有と、その株式から得られる利益（1年間の本株式による利益）については、1つの企業につき1年間の株式による利益が100万円以上の場合、あるいは当該全株式の5%以上を所有する場合とする。
- ③企業や営利を目的とした団体からの特許権使用料については、1つの特許権使用料が年間100万円以上とする。
- ④企業や営利を目的とした団体から会議の出席（発表、助言など）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料などの報酬については、1つの企業・団体からの年間の合計が50万円以上とする。
- ⑤企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料については、1つの企業・団体からの年間の原稿料が50万円以上とする。
- ⑥企業や営利を目的とした団体が契約に基づいて提供する研究費については、1つの企業・団体から、医学系研究（共同研究、受託研究、治験など）に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた金額が年間100万円以上とする。
- ⑦企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄付金については、1つの企業・団体から申告者個人または申告者が所属する講座、分野または研究室に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る寄付金で実際に割り当てられた金額が100万円以上とする。
- ⑧企業などが提供する寄附講座についてはそこに申告者らが所属している場合とする。
- ⑨その他の報酬（研究とは直接無関係な旅行、贈答品など）の提供については、1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上とする。

但し⑥⑦については、筆頭発表者個人か、筆頭発表者が所属する部局（講座・分野）あるいは研究室などへ、研究成果の発表に関連し開示すべき COI 関係にある企業・団体などからの研究経費、奨学寄付金などの提供のあった場合に申告する必要がある。

タイムテーブル（開催日：2025年9月23日）

時間		第1会場(3F)	第2会場(5F)
開会式			
8:30-8:35			
8:40-9:50	一般演題1-1 座長：国際医療福祉大学 リハビリテーション医学教室 主任教授 角田 亘 先生	一般演題2-1 座長：東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション科 武原 格 先生	
10:00-11:20	一般演題1-2 座長：神奈川リハビリテーション病院 青木 重陽 先生	一般演題2-2 座長：東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 木下 翔司 先生	
		ランチオンセミナー	
11:30-12:30	教育講演1 疾患ではなく疾患患者を良くするリハビリテーション治療 座長：獨協医科大学 リハビリテーション科学講座 主任教授 入澤 寛 先生 演者：岩手医科大学 リハビリテーション医学講座 教授 西村 行秀 先生 協賛：インターリハ株式会社	教育講演2 演題名：痙縮のマネジメントー急性期から生活期までー 座長：栃木県立リハビリテーションセンター リハビリテーション科 診療部長 船越 政範 先生 演者：日本大学医学部 リハビリテーション医学分野 教授 新見 昌央 先生 協賛：グラクソ・スミスクライン株式会社	
12:40-13:00	総会		
13:10-14:10	教育講演3 演題名：アクセシビリティの就労支援への応用可能性 座長：東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 木村 郁夫 先生 演者：東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 鈴木 慎 先生	※教育講演1,2,3,4は、「基本領域 日本リハビリテーション科専門医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医」の単位取得対象の講演となります。 ※教育講演3,4は日本医師会認定産業医の単位取得対象の講演となります。	
14:20-15:20	教育講演4 演題名：脳損傷者に対する職業リハビリテーション 座長：東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 主任教授 安保 雅博 先生 演者：戸田中央メディカルケアグループ(TMG)本部 リハビリテーション医療 特別顧問 渡邊修先生		

主催事務局：東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

プログラム

開会式 8:30~8:35

第1会場(3階)

一般演題 1-1 8:40~9:50

第1会場(3階)

座長 角田 亘先生(国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室)

1-1-1 自宅退院に難渋した回復遅延型ギラン・バレー症候群の一例

諸岡 千暁¹、小宮山 剛平¹、北川 恒実²、和田 勇治³

1. 医療法人社団城東桐和会タムス市川リハビリテーション病院
2. 日本医科大学武蔵小杉病院リハビリテーション科
3. 日本医科大学千葉北総病院リハビリテーション科

1-1-2 CPAP 治療により睡眠効率と夜間覚醒が改善した脳梗塞の一例：体動センサーで可視化された夜間頻尿に伴う起床の変化

豊田 紫央李^{1,2}、武原 格^{1,2}、安保 雅博²

1. 東京都リハビリテーション病院
2. 東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座

1-1-3 ボツリヌス療法実施下肢痙縮患者における SRST-10 評価法の有用性の検証

平松 永彬、補永 薫、谷 真美、前田 護友、武中 真衣、藤原 俊之
順天堂大学大学院医学系研究科 リハビリテーション医学

1-1-4 ステロイド長期内服患者に対するリハビリテーション治療の骨折抑制効果の検討

水島 靖枝^{1,2}、平尾 昌之²、小笠原 浩気¹、酒井 朋子²

1. 東京都立大塚病院リハビリテーション科
2. 東京科学大学リハビリテーション科

1-1-5 スマートフォンアプリを用いた新しい母指対立機能評価法の信頼性

宮本 英明¹、緒方 直史²

1. 帝京大学 整形外科科学講座
2. 帝京大学 リハビリテーション医学講座

1-1-6 血友病性関節症 X線画像による重症度評価

森末 菜々、上野 竜一

東京医科大学病院 リハビリテーション科

1-1-7 リバースショルダーの設置における術中ゼロポジション肢位の有用性

見目 智紀、正木 遥子、中澤 俊之、福田 倫也

北里大学病院 リハビリテーション科

一般演題 1-2 10:00～11:20

第1会場(3階)

座長 青木 重陽先生(神奈川リハビリテーション病院)

1-2-1 irAEとしての末梢神経障害の患者に対し適切な栄養管理がリハビリテーション治療の経過に寄与した1例

下野谷 里紗、鈴木 慎、柏原 一水、吉田 健太郎、安保 雅博

東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座

1-2-2 慢性期頸髄損傷患者にITB療法とリハビリテーション治療を行い、呼吸機能の改善を認めた1例

中野 英顕¹、竹光 正和²、堤 聡志¹、下村 忠賛¹、大嶋 理¹、植村 修¹

1. 国立病院機構村山医療センター リハビリテーション科

2. 国立病院機構村山医療センター 整形外科

1-2-3 骨盤輪骨折、左下肢開放性多発骨折、両下肢デグロービング損傷に対してリハビリテーション治療後に歩行自立した一例

中島 慶子¹、坐間 朗¹、和田 直樹²

1. 日高病院リハビリテーションセンター

2. 群馬大学医学部附属病院リハビリテーション科

1-2-4 多職種連携が治療効果や患者の行動変容に大きく影響した両下腿浮腫の一例

中山 ゆき¹、櫛田 幸¹、村岡 香織¹、杉山 瑤¹、辻 哲也²

1. 国立病院機構埼玉病院 リハビリテーション科

2. 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室

1-2-5 亜急性期に著明な機能改善を認めた Surfer's myelopathy の一例

東 咲貴子^{1,2}、下村 忠賛^{1,2}、堤 聡志^{1,2}、大嶋 理^{1,2}、植村 修¹、辻 哲也²

1. 国立病院機構 村山医療センター リハビリテーション科
2. 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

1-2-6 女性パラアスリートにおける低用量ピル・プロゲスチン製剤使用と鉄欠乏の関連

牛尾 会¹、中村 健¹、三上 幸夫²、緒方 徹³

1. 横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室
2. 広島大学病院リハビリテーション科
3. 東京大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学

1-2-7 精神運動発達遅滞を有する小児の外反扁平足に対し、足底装具の使用により、粗大運動の改善を認めた一症例

松原 大樹¹、里宇 明元¹、櫛田 幸¹、杉山 瑤¹、村岡 香織¹、辻 哲也²

1. 国立病院機構 埼玉病院 リハビリテーション科
2. 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

1-2-8 高齢心不全患者を対象にした送迎付き外来心臓リハビリテーション診療ー当院における新たな試みー

牧田 茂

川口きゅうばりハビリテーション病院

座長 武原 格先生(東京都リハビリテーション病院)

2-1-1 ドライビングシミュレーター評価の解釈に慎重な検討を要した視床出血後の感覚障害の一症例

安原 志峻、木下 翔司、増田 和明、吉田 健太郎、安保 雅博
東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座

2-1-2 当初は喀痰量を理由に気管カニューレ抜去困難と判断されたものの、段階的評価と介入により気管切開孔閉鎖と経口再開に至った一例

森田 智咲^{1,2}、木下 翔司¹、小田 隆之¹、増田 和明¹、安原 志峻¹、角田 亘²
1. 東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座
2. 国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室

2-1-3 食道入口部の肉芽増殖により経口摂取に難渋した喉頭閉鎖術後の1例

鍋島 吉輝¹、竹内 正人¹、角 優介¹、永田 智子¹、補永 薫²、藤原 俊之²
1. タムス浦安病院 リハビリテーション科
2. 順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学

2-1-4 当初は胃瘻造設を要したものの積極的な摂食嚥下訓練により経口摂取を再開できた、精神疾患を併存した Wallenberg 症候群の一例

関根 希和子^{1,2}、篠原 孝幸^{1,2}、伊豆蔵 英明^{1,2}、角田 亘²
1. 国際医療福祉大学市川病院 リハビリテーション科
2. 国際医療福祉大学医学部 リハビリテーション医学教室

2-1-5 放射線治療後の嚥下障害に対して低周波治療器が有効であった一例

根間 映寿^{1,2}、飯田 守^{1,2}、後藤 大輔^{1,2}、武藤 祐汰^{1,2}、杉山 みづき^{1,2}、川手 信行^{1,2}
1. 昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座
2. 昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院

2-1-6 悪性リンパ腫による頸部リンパ節腫大で嚥下障害を生じ、化学療法は奏功したが嚥下障害は増悪した一例

武中 基泰¹、小林 由紀子^{1,2}、加藤 千尋¹、辻 哲也³
1. 国立病院機構 東京医療センター リハビリテーション科
2. 東京都リハビリテーション病院
3. 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

2-1-7 体動困難にて発症し救急搬送された重症心不全・完全房室ブロックによる 89 歳男性サルコペニアの自宅(独居)退院の 1 症例

柳 英清

苑田会、竹ノ塚脳神経リハビリテーション病院

一般演題 2-2 10:00～11:20

第2会場(5階)

座長 木下 翔司先生(東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座)

2-2-1 慢性解離性大動脈瘤に対する胸部および腹部大動脈瘤人工血管置換術 5 年後に発症した解離腔合併胸腹部大動脈瘤壁在血栓による脊髄梗塞の復職

柳 英清

苑田会、竹ノ塚脳神経リハビリテーション

2-2-2 重度の発動性低下のある高次脳機能障害者への復職支援 ～川崎市の地域リハビリテーション体制における実践～

齋藤 薫^{1,2,3}

1. 川崎市社会福祉事業団 れいんぼう川崎
2. 川崎市北部リハビリテーションセンター
3. 川崎市中部リハビリテーションセンター

2-2-3 当センターにおける若年患者への学習支援の取り組み

今井 由里恵¹、堀 匠¹、中原 光三郎¹、市川 忠²

1. 埼玉県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科
2. 埼玉県総合リハビリテーションセンター 脳神経内科

2-2-4 当院併設の放課後等デイサービス・児童発達支援について

山下 愛茜

えびなファミリークリニックソラーレ

2-2-5 画像解析ソフト ImageJ を用いた簡便な運動学的評価方の検討:アテトーゼ症例への適用

三浦 治己¹、新城 吾朗²、西村 温子²、辻 哲也³

1. 東京都リハビリテーション病院
2. 済生会 東神奈川リハビリテーション病院
3. 慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室

2-2-6 誤嚥性肺炎患者における兵藤スコアを用いた嚥下機能の予後予測

村上 真慧、岡田 恒夫、竹原 慧

土浦協同病院 リハビリテーション科

2-2-7 新しい嚥下リハビリテーション戦略の導入による回復期病棟での肺炎予防効果の検討

鹿沼 優

世田谷記念病院

2-2-8 リハビリテーション診療の近年の動向

小山 照幸

亀田総合病院 リハビリテーション科

教育講演Ⅰ(ランチョンセミナー) 11:30~12:30 第Ⅰ会場(3階)

座長 入澤 寛先生(獨協医科大学 リハビリテーション科学講座)

「疾患ではなく疾患患者を良くするリハビリテーション治療」

演者 岩手医科大学リハビリテーション医学講座 教授 西村 行秀先生

協賛 インターリハ株式会社

教育講演Ⅱ(ランチョンセミナー) 11:30~12:30 第Ⅱ会場(5階)

座長 船越 政範先生(栃木県立リハビリテーションセンター)

「痙縮のマネジメント～急性期から生活まで～」

演者 日本大学医学部リハビリテーション医学分野 主任教授 新見 昌央先生

協賛 グラクソ・スミスクライン株式会社

教育講演Ⅲ 13:10~14:10 第Ⅰ会場(3階)

座長 木村 郁夫先生(東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座)

「アクセシビリティの就労支援への応用可能性」

演者 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 鈴木 慎先生

教育講演Ⅳ 14:20~15:20 第Ⅰ会場(3階)

座長 安保 雅博先生(東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座)

「脳損傷者に対する職業リハビリテーション」

演者 戸田中央メディカルケアグループ(TMG)本部、リハビリテーション医療

特別顧問 渡邊修先生

閉会式 15:20~15:30 第Ⅰ会場(3階)

※教育講演Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳは、「基本領域 日本リハビリテーション科専門医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医」の単位取得対象の講演となります。

※教育講演Ⅲ,Ⅳは日本医師会認定産業医の単位取得対象の講演となります。

MonthlyBook

リハビリテーション
専門雑誌

MEDICAL REHABILITATION

在宅における リハビリテーション 診療マニュアル

No.305
2024年10月
増刊号

編集

昭和大学教授 川手信行

医療法人社団輝生会理事長 水間正澄

好評

生活の場で展開される在宅リハビリテーション医療
でよく診る疾患・外傷について、各分野のエキスパート
が解説。在宅でのリハビリテーション診療の手引
き書として役立つ1冊です！



B5判 182頁
定価 5,500円
(本体 5,000円＋税)



CONTENTS

在宅リハビリテーション総論

- 生活期リハビリテーション医療の概要
- 生活期リハビリテーションの医療体制、進め方（多職種チーム）
- 在宅生活がうまくいくために、私たちは地域でどうリハビリテーションマネジメントすればよいのか？
- 在宅におけるコミュニケーション障害
- 在宅における摂食嚥下リハビリテーション
- 排尿・排便障害
- 在宅での筋痙縮への対応やリハビリテーション治療の実際
- 義肢・装具
- 日常生活用具—作業療法の視点—
- 栄養管理
- 感染対策

在宅リハビリテーション各論

- 脳血管疾患
- 運動器疾患
- 脊椎・脊髄疾患
- 神経・筋疾患
- 小児
- 在宅心臓リハビリテーション
- 呼吸器
- 認知症のリハビリテーション
- 高次脳機能障害
- がん
- フレイル・サルコペニア・ロコモ
- 高齢者、障害者の高齢化対策



全日本病院出版会

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-16-4 Tel:03-5689-5989
www.zenniti.com Fax:03-5689-8030

必携マニュアル最新版!

脳卒中上肢機能検査 マニュアル ARAT

監: 安保 雅博 (東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 主任教授)
編: 中山 恭秀 (東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 准教授)
著: 田口 健介 (東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション科)
大熊 諒 (東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション科)
坂本 大悟 (東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション科)



B5判 2色刷

Action Research Arm Test (ARAT)のマニュアルはこれ!

FMAと並ぶ上肢機能評価の世界基準であるARATの実施方法、活用方法を入門から臨床実践まで幅広く解説。さらに、習熟度を判定できる問題集つき。適切な評価から効果的な治療へつなげよう!

●ISBN: 978-4-88002-129-4

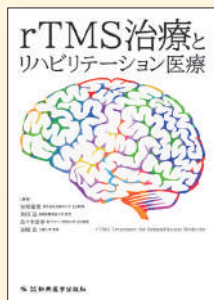
主要目次

上肢機能評価とARATの関係性/ARATによる上肢機能評価の実際/テストの実施方法/上肢運動麻痺の重症度/ARATの予後予測/治療での活用アイデア/リハビリテーション治療の効果判定/ARAT理解度チェック

国内最高峰のrTMS治療がわかる!

rTMS治療と リハビリテーション医療

編著:
安保雅博 (東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 教授)
角田 亘 (国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室 教授)
佐々木信幸 (聖マリアンナ医科大学リハビリテーション医学講座 教授)
百崎 良 (三重大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学講座 教授)



B5判 2色刷

脳卒中後上肢麻痺、下肢麻痺、失語症、嚥下障害、アパシー、意識障害、うつ、神経変性疾患等、慢性疲労症候群、Long COVIDの最先端の治療成績や適用などをくわしく紹介。東京慈恵会医科大学、国際医療福祉大学、聖マリアンナ医科大学、三重大学の4教授による、国内最高峰のrTMS実践テキスト!

●ISBN: 978-4-88002-132-4

主要目次

- 1章 TMSの歴史
- 2章 TMS装置の基本的知識
- 3章 反復性TMSの基本的知識とモダリティ
- 4章 ガイドラインにおけるrTMSの位置づけ
- 5章 病態別rTMS治療
- 6章 rTMS治療と併用される新しい治療の紹介
- 7章 rTMS治療の効果を示すための評価スケール
- 8章 rTMS治療を軸に据えた多職種連携・チーム医療
- 9章 rTMS治療を扱う学会活動の紹介
- 10章 rTMS治療の今後

同定・施注のポイントもコメント付きでわかりやすく解説!

上肢ボツリヌス療法と リハビリテーション医療

編者: 安保 雅博 (東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 主任教授)



B5判 104頁

適切かつ効果的な 上肢ボツリヌス療法を行うために 必要な知識がこの1冊でよくわかる!

ボツリヌス療法についての確かな筋同定と施注は極めて重要な要素となる。本書は豊富な画像を用いながら、いかにしてより効果的な痙攣治療に結び付けられるかを解説。リハビリテーション治療における指導や評価方法、EBMなど最新の知見と実践現場での経験も詰め込んだ充実の書籍!

●定価: 本体価格3,800円+税
消費税10%込(4,180円)
ISBN: 978-4-88002-792-0

主要目次

- 第1章: 上肢ボツリヌス療法とは?
痙攣とは/ボツリヌス療法の上肢痙攣に対する戦略的治療/エコーの基本
- 第2章: 関節ごとの施注例
1. 肩関節の痙攣/2. 肘関節の痙攣/3. 前腕の痙攣/4. 手関節の痙攣/5. 手指の痙攣
- 第3章: 各筋への施注のポイント
1. 大胸筋/2. 広背筋/3. 僧帽筋/4. 大円筋/5. 小円筋/6. 肩甲下筋/7. 上腕筋/8. 上腕二頭筋/9. 上腕三頭筋/10. 腕橈骨筋/11. 円回内筋/12. 橈側手根屈筋/13. 長掌筋/14. 尺側手根屈筋/15. 浅指屈筋/16. 深指屈筋/17. 長母指屈筋/18. 短母指屈筋/19. 母指内転筋/20. 虫様筋
- ◆第4章 EBMと評価方法◆
EBM/ARAT/FMA-UE/ARAT/FMA-UE数値から読み取れること

New! 大好評書籍続刊!

下肢ボツリヌス療法と リハビリテーション医療

編者: 安保 雅博 (東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 主任教授)



B5判 136頁

Web動画付き! 左右対称、見開き 展開でわかりやすい!

下肢のボツリヌス療法についての確かな筋同定と施注を豊富な画像で解説。ボツリヌス療法の治療戦略やそれにあわせて理学療法戦略、EBM、評価方法、症例を掲載。下肢痙攣に対するリハビリテーション治療の引き出しがぐんと増えること間違いなし

●定価: 本体価格4,200円+税
消費税10%込(4,620円)
ISBN: 978-4-88002-124-9

主要目次

- 第1章: エコーの基本
- 第2章: BoNT-A療法の下肢痙攣に対する治療戦略
治療戦略/BoNT-A療法と併用する理学療法戦略
- 第3章: BoNT-A療法の下肢痙攣に対するEBM
- 第4章: 各筋への施注のポイント
ヒラメ筋/腓腹筋(外側頭)/腓腹筋(内側頭)/後脛骨筋/長母趾屈筋/前脛骨筋/長趾屈筋/短趾屈筋/長腓骨筋/足底方形筋/短母趾屈筋/腸腰筋/短内転筋/長内転筋/薄筋/大内転筋/大腿二頭筋/半膜様筋/半腱様筋/大腿直筋/縫匠筋
- 第5章: 評価方法
- 第6章: 症例編
BoNT-A療法400単位から600単位、800単位の変化の比較と適応について/BoNT-A療法と拡散型体外衝撃波治療の併用〜下肢機能を中心に〜/下肢痙攣に対するBoNT-A療法の評価を今後どう考えるか〜器具変更の観点から〜/立位バランス・立ち上がり動作に着目した下肢BoNT-A療法と理学療法/鈎爪趾の改善



株式会社 新興医学出版社

〒113-0033 東京都文京区本郷6-26-8
TEL. 03-3816-2853 FAX. 03-3816-2895

http://www.shinkoh-igaku.jp
e-mail: info@shinkoh-igaku.jp

義肢装具士は整形外科の先生や患者さんの装具療法を
モノづくりの技術でサポート致します



Manufacturing-for a vivid life.

イキイキとした生活のためのモノづくり

nandemo connect.

なんコネ.

義肢装具に携わる方々が垣根なく交流できる場として「nandemo connect.」(なんコネ.)を設立しました。様々な企業と連携し多くの製品を全国各地で展示をさせていただいております。誰でもどこでもどんな形でもつながっていき、装具療法に携わる皆さまにとって情報共有そして相互に学びあえる場となるよう、このコミュニティを今後も継続し、そして更に大きな輪へと発展させていきます。



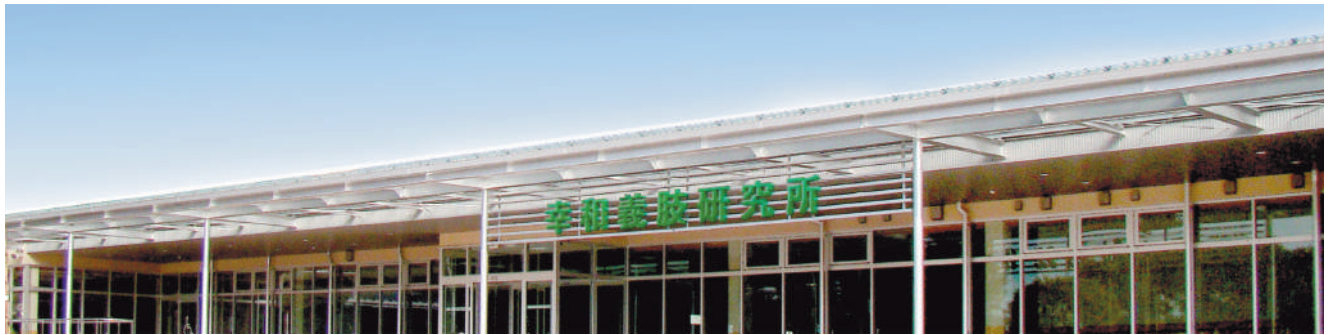
Alive アライヴワーク株式会社

〒259-1114 神奈川県伊勢原市高森 1202-1
TEL: 0463-75-8911 FAX: 0463-75-8912



Technology & Heartful

技術に、心をこめて。



幸和義肢研究所は、義肢・装具・車いす・座位保持装置等の製造販売、補聴器・コンフォートシューズ等、福祉機器・福祉用具の販売、および障がい者就労支援事業を行っている福祉のトータルサポート企業です。

■取扱商品

義肢、装具、車いす、座位保持装置、補聴器、杖、靴・コンフォートシューズ、その他福祉用具販売。



Sustainable Manufacturing CAD/CAM Station

生産性向上と、持続可能なモノづくりを行うために、CAD/CAMステーションを幸和義肢研究所敷地内に開設致しました。

お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ。

 株式会社 幸和義肢研究所

<https://www.kowagishi.com/>

障がい者就労継続支援B型・就労移行支援事業所



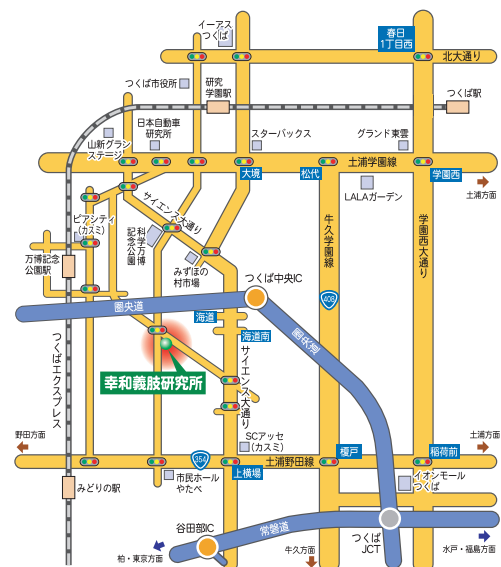
ワーク・イノベーションセンター
Work Innovation Center

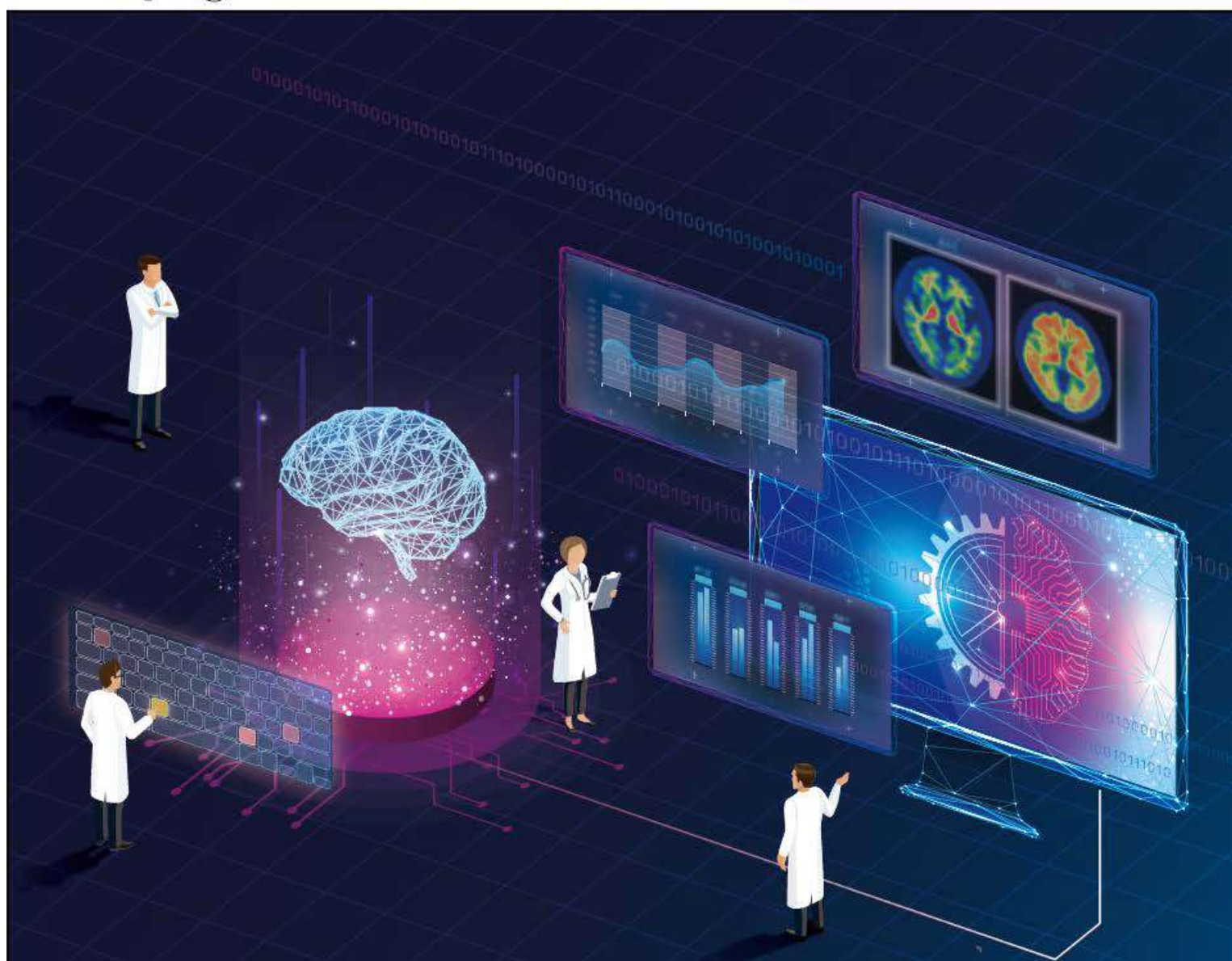
車いす・電動車いす等試乗コース



つくばイノベーションパーク
Tsubuka Innovation Park

〒305-0845 茨城県つくば市大白碓341-1
TEL: 029-875-7627 FAX: 029-875-7628





処方箋医薬品^注

放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

ダットスキャン[®] 静注

放射性医薬品基準イオフルパン (¹²³I) 注射液

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

処方箋医薬品^注

放射性医薬品・局所脳血流診断薬

薬価基準収載

パービューザミン[®] 注

放射性医薬品基準塩酸N-イソプロビル-4-ヨードアンフェタミン (¹²³I) 注射液

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

処方箋医薬品^注

放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

ビザミル[®] 静注

放射性医薬品基準フルテマモル (¹⁸F) 注射液

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

®: 登録商標

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については電子化された添付文書を参照ください。



製造販売元

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

文献請求先及び問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
SPECT・PET検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp> 2024年9月作成